

学位論文申請要領

(博士課程による者)

 杏林大学大学院

医学研究科

目次

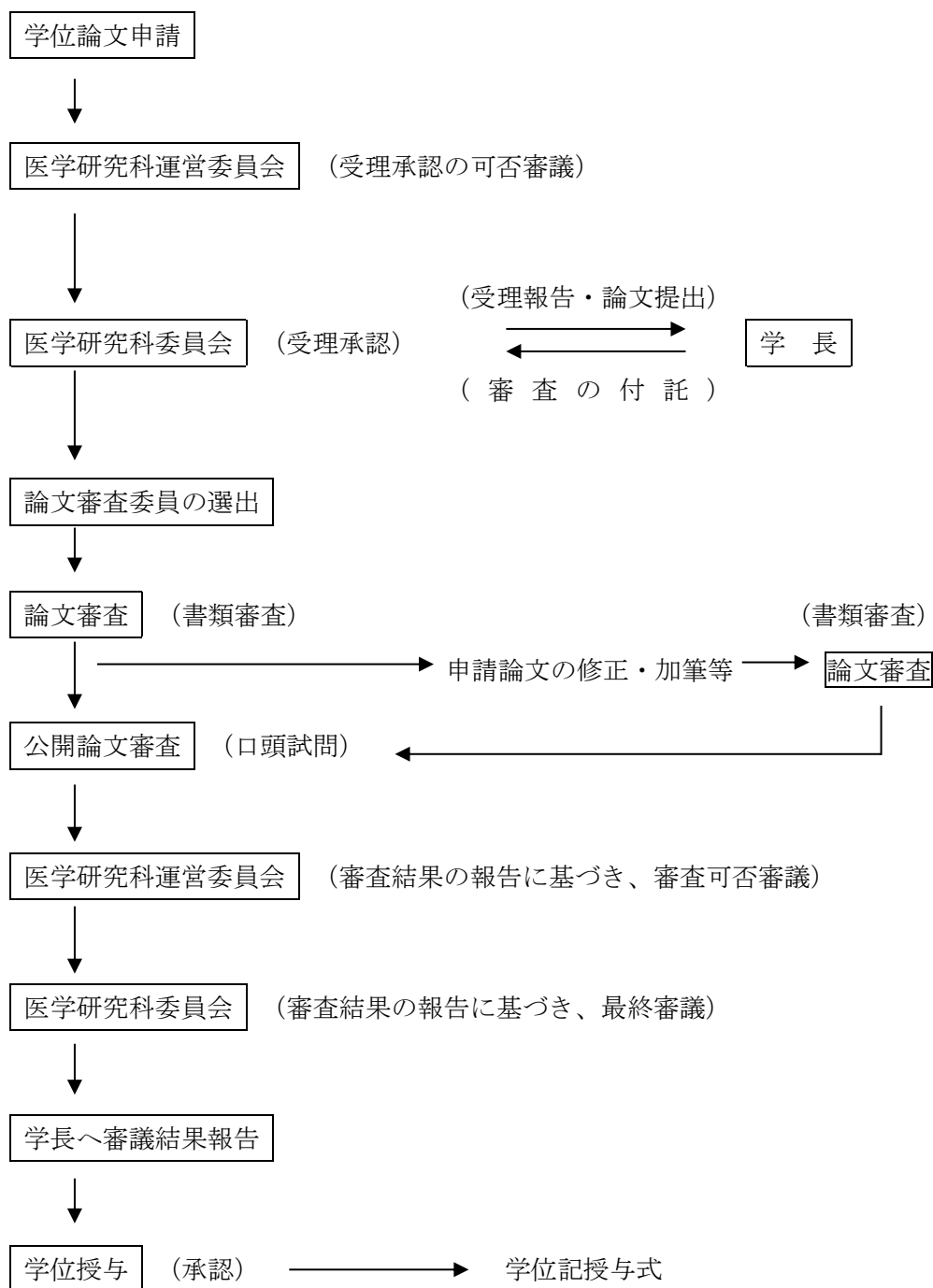
1. 学位授与までの流れについて	2
2. 課程修了による博士の授与要件	3
3. 特例（早期修了）学位審査について	3
4. 学位の申請（規程抜粋）	3
5. 提出書類について	4
6. 提出先	4
7. 提出書類の作成要領	5
8. 学位論文提出期限	7
9. 論文審査手数料の振込先	7
10. 学位論文の作成について	7
11. 学位論文審査基準	9
12. 学位論文審査について	10
13. 学位論文（最終版）の提出について	11
14. 論文要旨及び論文審査結果要旨の公表について	11
15. 学位記授与式	12
16. 通報・相談窓口	12
医師国家試験合格年月日	13
様式・作成例等	14

個人情報の取り扱いについて

- * 本学では〈個人情報の保護に関する法律（法律第 57 号）〉を遵守し、個人情報の適正な取り扱い、及び安全管理のために必要な措置を講じています。
- * 学位申請手続にあたって提出された個人情報は、これらに付随する必要な業務において使用させていただきます。
- * 本学が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合や秘密保持契約等の契約を締結した業者に業務委託する場合以外に、本人の承諾無しに第三者へ開示・提供することはありません。

1. 学位授与までの流れについて

学位申請から授与までの過程は下図のとおり。



2. 課程修了による博士の授与要件

博士の学位は、大学院博士課程を修了した者に授与する。（学位規程第5条）

【修了要件】

本研究科博士課程を修了するためには、同課程に4年以上在学し、30単位以上を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を挙げた者については、同課程に3年以上在学すれば足りるものとする（大学院学則第26条の2）。

3. 特例（早期修了）学位審査について

申請資格

- (1) 所定の単位を既に修得していること。
- (2) 指導教授より推薦されること。
- (3) 主論文（学位申請論文）が、査読制度が確立されている学術雑誌に掲載または掲載証明書が添付されていること。
- (4) 掲載雑誌の **impact factor(IF)**が4点以上であること。または、各研究領域別 **IF** ランキングで上位3誌以内の雑誌であること。
※原著、短報は問わない。

申請書類

- (1) 特例学位審査申請書（研究科長宛）
- (2) 指導教授による推薦書（研究科長宛）
- (3) 学位論文
- (4) 研究業績一覧表

特例学位審査資格の事前確認

大学院教務委員会において次のとおり事前確認を行う。

- 申請書類をもって、申請者の申請資格確認および申請論文の可否審議。
- 学位申請の特例可の場合、報告書を以って運営委員会に諮る。

修了時期

3年次の学期末

4. 学位の申請（規程抜粋）

博士の学位を申請する者は、在学期間中に主科目担当の指導教授の指示する時期までに論文並びに論文審査手数料を添えて、研究科長を経て学長に提出するものとする。

（学位規程第8条）

- (1) 博士課程履修者が学位論文の申請を行う場合は、指導教授の指示により、指定の期日までに次の書類を提出する。（学位論文取扱内規第2条第1項）
 - ① 学位論文（**THESIS**）
 - ② 論文目録（様式2）

- ③ 学位論文要旨（様式3）
 - ④ 履歴書（様式4）
 - ⑤ 論文審査手数料
 - ⑥ 単位取得表
- (2) 申請者は、必要に応じて副論文を提出することができる。
- (3) 論文審査手数料は 50,000 円とする。

5. 提出書類について

(1) 提出書類

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 学位論文 (THESIS) | 10部及び電子データ |
| 2. 主論文 (印刷公表されている場合) * | 10部 |
| 3. 副論文* | 各10部 |
| 4. 論文目録 (様式2) | 10部 |
| 5. 学位論文要旨 (様式3) | 10部及び電子データ |
| 6. 履歴書 (様式4) | 10部 |
| 7. 承諾書 (様式6) * (共著者1名につき1部) | 共著者全員分 |
| 8. 論文審査委員候補者推薦 (様式10) | 1通 |
| 9. 提出書類のチェックリスト | 1通 |
| 10. 封筒 (角2サイズ) | 100枚 |
| 11. 論文審査手数料払込控 (銀行発行) | 1通 |

註1) 書類は全て縦A4版、片面、横書きとする。

註2) * は、場合によって提出が必要となるもの。

註3) 電子データは、まとめて1つの電子媒体 (CD、USB) 又は、
Eメールで提出する。

- (2) 学位申請に際しては、必ず指導教授の内諾を得ること。
- (3) 単位取得表は、医学部事務課大学院・学位申請係が作成するため、提出は不要。
但し、単位未取得者は学位を申請することができない。

6. 提出先

- (1) 提出にあたり、医学部事務課大学院・学位申請係に申請者本人が直接持参し、提出する。
やむを得ない事情により、代理人が提出する場合又は、郵送での提出を希望する場合には、予め大学院・学位申請係までその旨を連絡すること。
- (2) 受付は、月曜日から金曜日の午前9時30分から11時30分まで及び、午後13時30分から17時までとする。但し、大学の事情により受付を休止することもあるので、大学院・学位申請係まで確認すること。
- (3) 申請書類の事前確認 (論文目録、学位論文要旨、履歴書等) を希望する場合は、遅くとも提出予定日の1週間前までに、E-メールにて提出予定の書類を送付し、事前確認を希望する旨を申し出ること。
- (4) 論文審査手数料は、学位論文提出期限までに振込み手続きを行い、提出書類と併せ

て【論文審査手数料払込控】を提出すること。

(5) 提出先

医学部事務課 大学院・学位申請係（医学資料情報センター棟1階）

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

TEL 0422-47-5511（内線 3222・3211）

FAX 0422-44-1858

E-Mail gakui-med@ks.kyorin-u.ac.jp

7. 提出書類の作成要領

(1) 学位論文（THESIS）

- ① 提出する学位論文（THESIS）は、未公表であっても差し支えない。但し、学位を授与された日から1年以内にその論文を公表しなければならない。
- ② 既に学位論文の主要部分が査読制度のある学術雑誌に公表されたもの、又はその掲載証明書又は学術雑誌からの「受理」を伝えるメールの写しがあれば、併せて提出する。
- ③ 作成要領は、「10. 学位論文の作成について」を参照すること。
- ④ 邦文、英文どちらで作成しても構わない。
- ⑤ 研究題目が英文の場合は、題目の下に括弧で和訳を付ける。
- ⑥ 学位論文取扱内規第2条第2項に基づき、共著論文は審議のうえ、受理を認めることがある。この場合、申請者が筆頭著者であることを原則とし、他の共著者の承諾書（様式6）が添付されていなければならない。
※承諾書については、(7)を参照すること。

(2) 主論文

- ① 学位論文の主たる内容が印刷公表されている又は掲載証明書を添付できる場合は、主論文として別刷又は写しを提出する。

(3) 副論文

- ① 申請者が主著者となっている原著論文で、かつ査読制度のある学術雑誌に公表された論文とする。
- ② 必要に応じて提出することができるが、特に提出がなくとも学位審査に影響しない。但し、その場合には、論文目録に「なし」と記入する。
- ③ 申請する学位論文との関係の有無は問わない。

(4) 論文目録（様式2）

- ① 研究題目が英文の場合は、和訳を括弧で付ける。
- ② 研究題目の記載を完全一致（大文字、小文字、半角全角、記号、スペース、下付き数字、上付き数字、和訳等含）させる。
- ③ 作成については、(註)を参照すること。
- ④ 片面1枚に収まるように作成する。

(5) 学位論文要旨（様式3）

- ① 邦文1,000字以内で作成する（英文不可）。
- ② 研究題目が英文の場合は、題目の下に括弧で和訳を付ける。

- ③ 研究題目の記載を完全一致（大文字、小文字、半角全角、記号、スペース、下付き数字、上付き数字、和訳等含）させる。
 - ④ 片面1枚に収まるように作成する。
- (6) 履歴書（様式4）
- ① 学位記に表記する氏名と生年月日は、履歴書及び戸籍抄本の記載に基づき作成する。
 - ② 提出部数全てに記名押印する。
 - ③ 生年月日は和暦で記載する。但し、外国籍の場合は西暦表記で記載する。
 - ④ 学歴は、高等学校卒業以降、年次を追って記載する。
 - ⑤ 医師国家試験合格日及び医籍を記載する。医籍登録日と医師国家試験合格日は異なるため、13ページの医師国家試験合格年月日を確認して記載すること。
 - ⑥ 学歴、研究歴、職歴は、それぞれの事項毎に記載する。職歴と研究歴に重なる期間があったとしてもそれぞれ記載すること。
※大学院在学中での研究を学位論文として学位申請を行うことから、研究歴の記載は必須としない。研究歴としての記載事項が特にない場合には、履歴書の「研究歴」を削除する。
 - ⑦ 職歴の期間は断絶することがないように記載する。
 - ⑧ 本学付属病院へ勤務してからの経歴（年月日、職名等）が不確かな場合は、病院庶務課へ問い合わせること。
 - ⑨ 賞罰がない場合には、“なし”と記載する。
 - ⑩ 日付は、申請日（提出日）とする。
 - ⑪ 片面1枚に収まるように作成する。
- (7) 承諾書（様式6）
- ① 署名（自署／サイン）の場合、押印不要とする。
 - ② 記名の場合は、押印する。
 - ③ 共著者が外国在住であっても承諾書の提出は必須である。FAXやPDF等の写しは認められない。原本を提出すること。
 - ④ 共著者が故人の場合は承諾書の提出は不要とする。
- (8) 提出書類のチェックリスト
- ① 提出する書類等をチェック（）し、申請者氏名及び連絡先を記載する。
 - ② 本リストと併せて、提出書類等を提出すること。
- (9) 封筒
- ① 角形2号（A4版の用紙が入る大きさ）を100枚提出する。
 - ② 医学研究科委員会委員74名（平成30年4月1日時点）及び、論文審査委員5名に学位申請書類等の送付及び、審査の過程において使用する。
 - ③ クラフト封筒、茶封筒等で可。また、テープ付きでなくとも構わない。
- (10) 論文審査手数料払込控
- ① 「8. 学位論文提出期限」までに金融機関発行の払込控（写し）を貼付して、他の提出書類と併せて提出すること。
なお、払込控（原本）は各自保管とする。

- ② インターネットバンキングの場合、振込明細照会等の確認画面を印刷したものを貼付すること。

8. 学位論文提出期限

入学時期	提出期限
秋学期入学者	4月27日(金) 17:00まで
春学期入学者	11月30日(金) 17:00まで

注1.) 提出期限以降の提出も受付するが、審査が遅れることから年度内での学位授与が難しくなることを考慮する。

注2.) 提出期限内に提出したとしても審査の過程において、審査コメント等に対する回答及び追記・修正等により時間を要する場合には、年度内での学位授与が難しくなることがある。

9. 論文審査手数料の振込先

振込銀行 三菱UFJ銀行 西荻窪支店

口座番号 普通預金 0504701

口座名義 ガク) キョウリンガクエン キョウリンダイガクイガクフ
学校法人杏林学園 (杏林大学医学部)

理事長 松田博青

10. 学位論文の作成について

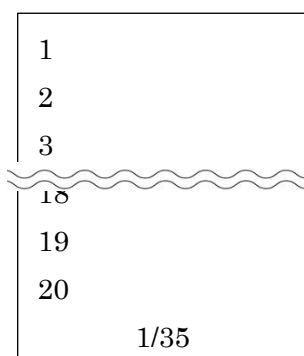
印刷公表済みの論文がある場合は、【主論文】として別刷又はコピーを添付すること。

申請する学位論文は、次の要領で作成すること。

- (1) 原稿は可能な限りMicrosoft Officeによる。
用紙はすべて縦A4判, 40字×20行で作成する。
英文の原稿はダブルスペースとし、

TimesまたはTimes New Roman [14ポイント], Courier またはCourier New [12ポイント] を使用する。また, 原稿には頁を付与し、片面印刷とする。

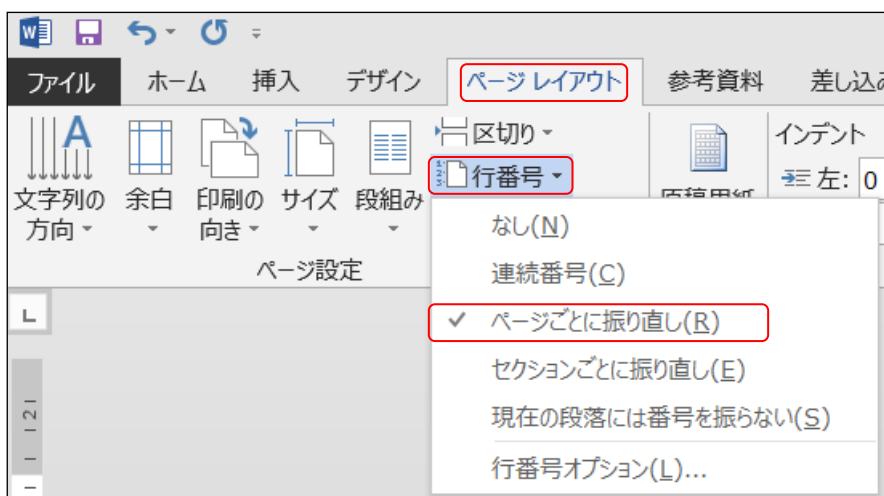
邦文の原稿は特にフォントの指定はしない。



【原稿の作成について】

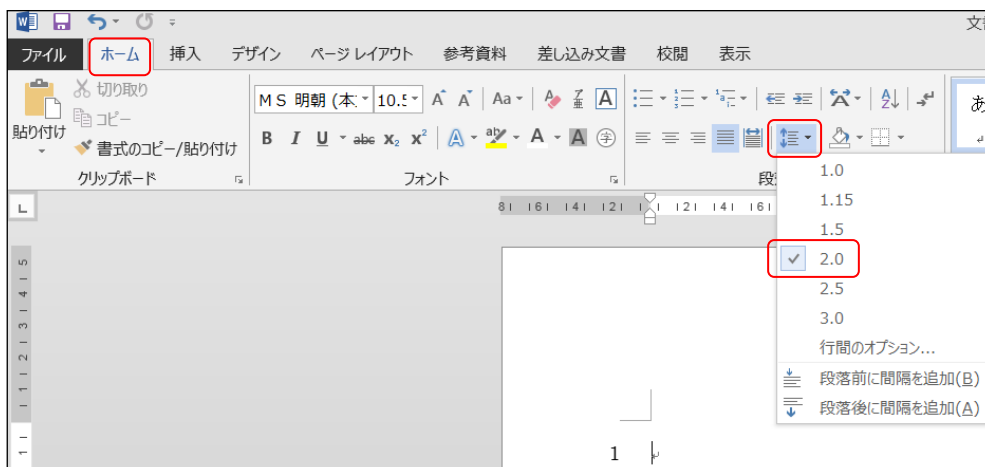
- ・行番号を付ける

[ページレイアウト] の [行番号] から
[ページごとに振り直し] に✓する。



- ・ダブルスペースにする

[ホーム] の [段落] グループから、
[行と段落の間隔] をクリックし、[2.0] を選択する。



- (2) 原稿は標題 (Title) , 要旨 (Summary) , 本文 (Text) , 引用文献 (References) , 図説明文 (Figure Legends) , 英文抄録 (Summary in English) , 図 (Figures) , 表 (Tables) の順序とし、標題 (Title) から英文抄録 (Summary in English) までと、図 (Figures) から表 (Tables) までをそれぞれ左上をホチキスで綴じ、各10部提出すること。なお、英文論文の場合は邦文要旨を記載すること。
- (3) 第1頁は、標題 (Title) として、研究題目・所属 (教室、診療科等) ・職位・著者氏名 (共著者がある場合は共著者氏名) ・発表学会名及び開催年月日・掲載誌、巻、号及び発行年月日 (予定を含む) を記載する。
- (4) 第2頁は、要旨 (Summary) を概ね250-400字で記入する。
- (5) 第3頁以降に本文 (Text) を記入する。
 1. 本文は、原則として緒言 (Introduction) , 材料と方法 (Materials & Methods) ,

結果 (Results) , 考察 (Discussion) , 結論 (Conclusion) の順序とする。

2. 略語は、初回は正式名を用いた後に括弧に入れて記入し、2回目以後からはそのまま使用してもよい。
- (6) 引用文献 (References) は下記の要領で記入する。
1. 引用は本文中に片カッコ付きで上付けした引用番号順に記載する。
 2. 雑誌の場合、著者 (全員) : 題名, 雑誌名, 巻:頁一頁, 発行年の順で記載する。
なお、外国雑誌名は「List of Journals in Index Medicus」, 国内雑誌名は「医学中央雑誌収載誌目録」に準拠した略誌名とする。
- (7) 図説明文 (Figure Legends) は英文で作成し、まとめて記載する。
図には短い表題を付ける。
(論文が邦文の場合、図説明文 (Figure Legends) も邦文で構わない)
- (8) 図 (Figures) は図毎にA4判で作成する。図やグラフの作成は掲載論文を参照して作成する。
- (9) 表 (Tables) は表毎にA4判で作成する。表題は表の上に、脚注は表の下に作成する。
- (10) 英文抄録 (Summary in English) には以下を記載し、抄録本文は概ね400words以内とする。
1. 英文標題
 2. 著者名
 3. 所属
 4. 抄録
- (11) 英文内容についてはネイティブスピーカーの校閲を受けることが望ましい。
- (12) 上記の内容以外のことについては、杏林医学会雑誌投稿規程に準じる。

11. 学位論文審査基準

(1) 学位論文審査要領

学位論文取扱内規第5条(7)学位論文審査委員会は別に定める審査基準により審査する。

1. 甲乙いずれも既に印刷公表されているかに係わらず、学位申請論文の審査のための、書き上げ論文 (THESIS) を提出する。
2. 論文審査は、書き上げ論文に対して行なう。
3. 論文審査委員会の指示があれば、その評価およびコメントに従って訂正・改善を行い再提出する。
4. 既に印刷公表されている場合は、書き上げ論文に別刷りを添えて提出する。

(2) 学位論文審査基準

審査項目

1. 研究課題の背景の明確性・課題設定の妥当性
2. 研究の方法論の妥当性 (実験方法およびデータ処理法含む)
3. 結果の表現・表示 (図表等) の適切性
4. 結果に関する考察の適切性
5. 先行研究との関連についての考察の適切性

6. 全体を通じた論旨の展開の適切性
7. 文章表現の妥当性
8. 研究の独創性
9. 倫理面での適切性

評価（1～5の5段階評価）

- 5：改善の必要なし、優れている
- 4：多少の改善の必要があるものの、平均以上の水準
- 3：改善の余地があるが、概ね妥当
- 2：大幅な改善が必要
- 1：博士論文として不適、根本的な改善が必要

合格の基準

- ☆ 全て、3以上となること（1と2が無いこと）。

12. 学位論文審査について

(1) 論文審査委員

- ・ 論文審査委員は5名を原則とし、医学研究科委員会において指名される。
- ・ そのうち1名は主査として審査委員会の取りまとめを行う。
- ・ 指導教授及び、指導教授と同教室の教員は審査委員となることはできない。
- ・ 共著者及び謝辞に掲載されている教員は審査委員となることはできない。
- ・ 審査のため必要がある医学研究科委員会が認めたときは、学外審査委員を審査委員会の委員として加えることができる。
- ・ 審査に関わる教員等は、法令その他本学が定める諸規程を遵守することはもとより、高い倫理観と社会的良識を持って、公正かつ誠実な職務の遂行を行うこととする。
- ・ 学位申請者及び研究題目並びに論文審査委員名は公表する。

(2) 第1回論文審査委員会

- ・ 論文審査委員5名が、学位論文審査基準（11. 学位論文審査基準（2）学位論文審査基準）により審査を行う。
- ・ 審査の結果は、主査が取りまとめ1～2週間以内に学位申請係を通して申請者へ通知する。
- ・ 審査委員会からの指示があれば、その評価およびコメントに従って訂正・改善を行い再提出すること。

(3) 再提出

- ・ 再提出にあたっては次のとおりとする。
 - 提出先：医学部事務課（医学資料情報センター棟1階）学位申請係
 - 提出書類：①論文要旨（様式3）
 - ②学位論文（修正版）
 - ③学位論文（訂正及び追加等の変更履歴が分かるもの）

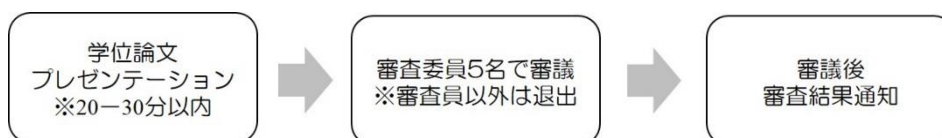
④回答書（審査委員からのコメントに対し一問一答で作成）

※②及び③については、10. 学位論文の作成について (2)と同様

- 提出部数：各 6 部
- 提出期限：主査より提出期限の指示があれば、それまでに提出すること。
特に指示がない場合には、可能な限り速やかに再提出すること。

(4) 公開論文発表会（試問・最終試験）

- ・ 学位論文のプレゼンテーションを 20–30 分以内で行う。但し、事前に主査より発表時間の指示があった場合は、指示された時間内で行う。
- ・ プレゼンテーションは、PowerPoint, Keynote 等を用い、学位論文の内容として、当該研究を行うに至った背景、考察等及び、審査委員から発表会において説明を求められた内容等についてスライドを作成すること。
- ・ スライドの枚数制限は特に設けない。
- ・ 当該研究内容を専門分野としないものにも分かるようにプレゼンテーションを行うこと。
- ・ プレゼンテーション（20–30 分以内）後、質疑応答を行い、審査委員の審議のうえ、結果を通知する。（プレゼンテーションから結果通知まで 1 時間程度。）



- ・ 開催にあたっては、開催通知を掲示するとともに、医学研究科ホームページにおいて公表する。

(5) 審査結果の報告

- ・ 論文審査を終了した場合、主査は、学位論文審査結果要旨（様式 5）を作成し、副査 4 名の確認のうえ、医学研究科委員会に報告する。

(6) 可否の決定

- ・ 医学研究科委員会は論文審査委員主査からの報告に基づき可否を決定する。

(7) 審査期間

- ・ 論文審査は、医学研究科委員会において受理承認後、できるだけすみやかに終了しなければならない。但し、特別の理由があるときは、その期間を 1 年以内に限り延長することができる。

13. 学位論文（最終版）の提出について

論文審査及び最終試験終了後、提出論文の内容の訂正又は追加の指摘をうけたときは修正後の論文、論文要旨並びに論文目録を指導教授及び学位論文審査委員会主査の校閲終了後に各3部及び、電子データを提出すること。

14. 論文要旨及び論文審査結果要旨の公表について

杏林医学会雑誌において掲載する。

15. 学位記授与式

前期学位記授与式は9月、後期学位記授与式は3月で行う（三鷹キャンパス）。

16. 通報・相談窓口

通報窓口：審査に係る不正等の本学内外からの通報（告発）受付

大学事務部（内線3272～3274）

相談窓口：審査に係る相談窓口

医学部事務課教務係（大学院担当）（内線3222・3211）

医師国家試験合格年月日

回数	合格年月日
第61回	S51. 05. 07
第62回	S51. 10. 29
第63回	S52. 04. 27
第64回	S52. 10. 27
第65回	S53. 05. 02
第66回	S53. 10. 25
第67回	S54. 05. 01
第68回	S54. 10. 22
第69回	S55. 05. 01
第70回	S55. 10. 23
第71回	S56. 05. 01
第72回	S56. 10. 31
第73回	S57. 05. 08
第74回	S57. 10. 30
第75回	S58. 05. 07
第76回	S58. 11. 05
第77回	S59. 05. 10
第78回	S59. 10. 30
第79回	S60. 05. 08
第80回	S61. 05. 07

回数	合格年月日
第81回	S62. 05. 07
第82回	S63. 05. 06
第83回	H01. 05. 10
第84回	H02. 05. 09
第85回	H03. 05. 07
第86回	H04. 05. 06
第87回	H05. 04. 16
第88回	H06. 04. 15
第89回	H07. 04. 14
第90回	H08. 04. 12
第91回	H09. 04. 11
第92回	H10. 04. 22
第93回	H11. 04. 22
第94回	H12. 04. 20
第95回	H13. 04. 26
第96回	H14. 04. 25
第97回	H15. 04. 24
第98回	H16. 04. 22
第99回	H17. 03. 30
第100回	H18. 03. 29

回数	合格年月日
第101回	H19. 03. 29
第102回	H20. 03. 28
第103回	H21. 03. 27
第104回	H22. 03. 29
第105回	H23. 03. 18
第106回	H24. 03. 19
第107回	H25. 03. 19
第108回	H26. 03. 18
第109回	H27. 03. 18
第110回	H28. 03. 18
第111回	H29. 03. 17
第112回	H30. 03. 19
第113回	
第114回	
第115回	
第116回	
第117回	
第118回	
第119回	
第120回	

学位申請者 各位

学位取得に伴う金銭の授受等について

文部科学省から平成20年3月19日付け19文科高第854号「大学における厳正な学位審査体制の確立について」ならびに平成21年5月12日付け21文科高第6121号「大学における厳正な学位審査体制等の確立の徹底について」として、「学位審査に関連して審査委員が収賄罪により起訴された事件や学位取得に伴い金銭の授受があった事実が明らかになる不祥事がありました。学位の国際的な通用性・信頼性の確保がこれまで以上に求められている状況において、このような不祥事があったことは、学位の国際的な通用性・信頼性を損なうことにもなりかねず、極めて重大な問題です。」と通知がありました。 昨今、社会的にも問題になっておりますので、学位審査に関わって不明朗な金品の授受等のなき様、御注意願います。

平成21年5月18日

論文目録

氏名 甲野 乙太郎

学位論文 免疫学的・・・抗原に関する研究

著者氏名 甲野 乙太郎 大海 太郎 春野 花子

杏林医学会雑誌 33巻1号：115～130. 2009年
第23回〇〇学会総会発表 2008年

副論文

- 1) 甲野乙太郎、春野花子、大海太郎
特異的抗・・・血清に関する研究
日本〇科学会雑誌70(2)：112～125. 2006年

※特になければ「なし」と記入する。

(註)

- 1 学位論文題名及び参考論文題名は公表した表題と一字一句違わないように注意する。
- 2 論文題名が外国語の場合は、題目の下に括弧で和訳を付ける。
- 3 共著者がある場合は共著者氏名も記載し、記載順序は発表論文記載と同じにする。
本学以外の他大学・病院等の著者は「その他」として省略する。
- 4 学会発表又は公表している場合は、発表学会名及び開催年月日、掲載誌、巻、号、及び発行年月日(予定を含む。)を記載すること。
- 5 発表誌の記入要領は、著者(全員)：題名、雑誌名、巻：頁-頁、発行年の順で記載する。
外国雑誌名は「List of Journals in Index Medicus」、国内雑誌名は「医学中央雑誌収載誌目録」に準じる。

学位論文要旨

研究題目	免疫学的・・・・・・抗原に関する研究
著者氏名（専攻名）	甲野 乙太郎（大学院医学研究科内科系内科学専攻）
掲載誌	※未公表の場合は、空欄で構わない。

論文要旨（1,000字以内）

（註）

- 1 学位論文題名は公表した表題と一字一句違わないように注意する。
- 2 論文題名が英文の場合は、題目の下に括弧で和訳を付ける。
- 3 要旨は邦文1,000字以内とし、本様式1枚にまとめること。
- 4 英文論文の場合でも、要旨は邦文で作成すること。

様式4 作成例

履 歴 書

ふりがな	この おつたろう	性別
氏名	甲野 乙太郎 印	男
生年月日	昭和55年 4月 1日	
本籍地	東京都三鷹市新川6丁目20番2号	
現住所	〒181-8611 東京都三鷹市新川6丁目20番2号 電話番号 0422-47-5511	

学 歴

平成 11年 3月 ○○高等学校 卒業
 平成 11年 4月 杏林大学医学部 入学
 平成 17年 3月 杏林大学医学部 卒業
 平成 24年 4月 杏林大学大学院医学研究科 入学（内科系小児科学専攻）
 平成 27年 11月 同 上 在学中

医師国家試験及び医籍

平成 17年 3月 30日 第 99 回 医師国家試験 合格
 平成 17年 4月 7日 医籍登録第 123456 号

研究歴※記載する研究歴がない場合には、項目を削除すること。

平成 23年 4月 米国 ○○ School of Medicine Research fellow として
 基礎研究に従事した。

職 歴

平成 17年 4月 杏林大学医学部附属病院 初期臨床研修
 平成 18年 4月 杏林大学医学部附属病院 小児科 レジデント
 ○○病院 小児科 出向 [H20.4-H21.3]
 平成 21年 4月 杏林大学医学部附属病院 小児科 医員
 平成 22年 4月 杏林大学医学部附属病院 小児科 臨床専攻医
 ○○病院 小児科 医長 [H22.4-H23.3]
 米国 ○○ School of Medicine Research fellow
 [H23.4-H24.3]
 平成 24年 4月 杏林大学医学部 助教（任期制） 小児科学教室勤務
 現在に至る。

賞 罰

平成 24年 12月 ○○学会 ○○○奨励賞

平成 年 月 日

(註)

- 1 職歴の期間は断絶することがないように記入すること。
- 2 助教は、助教と任期制の別を記入すること。

様式6 作成例

承 諾 書

論文題目：免疫学的・・・・・・・・抗原に関する研究

研究者名：甲野 乙太郎 大海 太郎 春野 花子

(※著者全員の氏名を記入のこと。英文論文の場合、英文表記で構わない。)

上記論文を、甲野 乙太郎 が学位論文として提出することを承諾いたします。
なお、私は本論文を学位申請のための学位論文として使用することはありません。

所 属

共著者 _____

(※自署であれば、押印不要)

平成 年 月 日

平成 年 月 日

医学研究科長 殿

所 属 小児科学
指 導 教 授 印

論文審査委員候補者推薦

下記のとおり、 甲野 乙太郎 の学位申請について論文審査委員候補者を推薦致します。

記

所属・氏名 外科学 ○○ ○○先生

所属・氏名 解剖学 ○○ ○○先生

所属・氏名 小児科学 ○○ ○○先生

(註)

ご推薦頂きました候補者が承認されない場合もございますのでご了承ください。

候補者の推薦にあたっては、医学部専任教員（教授・臨床教授・研究教授）の中から

- ①臨床系 2 名、基礎系 1 名を推薦する。
- ②共著者及び謝辞に掲載されている先生を推薦することはできない。
- ③指導教授と同教室の先生を推薦することはできない。

論文審査手数料払込控

払込控（写し）を貼付して下さい

平成 年 月 日

医学部事務課 学位申請係 御中

学位論文の申請として、下記の書類を提出いたします。

- | | | |
|--------------------------|---------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 学位論文 (THESIS) ※紙媒体 | 10部 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 学位論文 (THESIS) ※データファイル | 1式 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 主論文 (印刷公表されている場合) * | 10部 |
| <input type="checkbox"/> | 4. 掲載証明書又は、受理メールの写し* | 1部 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 副論文* | 各10部 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 論文目録 (様式 2) | 10部 |
| <input type="checkbox"/> | 7. 学位論文要旨 (様式 3) ※紙媒体 | 10部 |
| <input type="checkbox"/> | 8. 学位論文要旨 (様式 3) ※データファイル | 1式 |
| <input type="checkbox"/> | 9. 履歴書 (様式 4) | 10部 |
| <input type="checkbox"/> | 10. 承諾書 (様式 6) * | 共著者全員分 |
| <input type="checkbox"/> | 11. 論文審査委員候補者推薦 (様式 10) | 1通 |
| <input type="checkbox"/> | 12. 封筒 | 100枚 |
| <input type="checkbox"/> | 13. 論文審査手数料払込控 | 1通 |

(※ 提出書類には☑をすること。)

註1) 書類は全て縦A4版、片面、横書きとする。

註2) * は、場合によって提出が必要となるもの。

註3) 電子データは、まとめて1つの電子媒体 (CD、USB) 又は、Eメールで提出する。

学位論文申請者名 _____

日中の連絡先 電話 (内線・携帯など) : _____

FAX : _____

メールアドレス : _____